

福井県地方種苗審査会事蹟報告

2

福井県内務部編

国立国会図書館

14.2.1
388

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 18
10 1 2 3 4 5

始



123T-54

14.21

388

福井縣地方種繭審查會事蹟報告第一報

緒 言

1421-388

本書ハ大正五年度本縣地方種繭審査會事
蹟ノ大要ヲ蒐錄セルモノ以テ當業者ノ參

考ニ資ス

大正五年十一月

福井縣內務部



四四三三三一	一一一一一	一頁
九二五一	一七七七三二	
一五二	一〇九全	正誤行*
六七段目	八全	二二三
一〇十段目	七四段目	七
一九九	れる	誤
一七九	れる	増減シ
五七六	さる	蘭層量
原蠶種製造所	さる	総目添ク
會議ノ議事ハ	れる	増減ス
車馬貨	一七九	蘭層量
	五七六	総目淺ク
		正

福井縣地方種繭審查會事蹟報告第二報目次

第一章	沿革	一頁
第二章	委員及職員	一頁
第三章	經費	四頁
第四章	種繭審查會概況	四頁
第一節	總說	四頁
第二節	訓辭及告辭	八頁
第三節	決議事項	一一頁
第四節	出席委員	一八頁
第五章	種繭成績調查	一九頁
第一節	調查及肉眼審查ニ關スル成績	一九頁
第二節	器械審查ニ關スル成績	二二頁

第三節	名稱別審查合否比較成績	二五頁
第四節	名稱別調查、肉眼及器械審查成績	二八頁
第五節	系統別審查合否比較成績	三〇頁
第六節	系統別調查肉眼及器械審查成績	三一頁
第七節	蘭色別調查肉眼及器械審查成績	三二頁
第八節	春秋別調查肉眼及器械審查成績	三二頁
第九節	調查、肉眼及器械審查得点成績	三三頁
第六章	種蘭審查會關係法規	三五頁
一、	蠶絲業法(拔萃)	三五頁
二、	蠶絲業法施行規則(拔萃)	三六頁
三、	種蘭審查會規則	三八頁
四、	審查規則	四三頁
五、	審查委員手當及旅費支給規則	四五頁
以 上		

福井縣地方種蘭審查會事蹟報告第一報

第一章 沿革

本縣地方種蘭審查會ハ明治四十四年勅令第二七六號種蘭審查會規則ニ基キ設置セラレ大正四年五月農商務大臣ヨリ本會委員ノ定數並ニ種蘭審查ニ關スル規程ノ認可ヲ受ケタルヲ以テ同年同月十六日本縣告示第百三號ヲ以テ本會審查規則公布セラレ翌六月二十六日會長以下委員職員ノ任命行ハレ同年七月審查請求六十二点ニ對シ審查ヲ行ヒ二十八点ニ對シ合格ノ決定ヲ與ヒ之ガ詳細ナル報告ハ大正五年一月第一報トシテ廣ク當事者ニ配付シタリ

第二章 委員及職員

本會開設以來委員及職員ノ氏名左ノ如シ(大正五年十月調査)

任免年月日	職名	住所	氏名
大正四年六月二十六日任命	福井縣內務部長	福井市佐佳枝上町	松村才知
同	福井縣理事官	同市豊嶋中町	佐々木米三郎
同	福井縣技師	同市松ヶ枝下町	誠
同	福井縣農業技師	同市東上町	安東晃憲
大正五年九月 一日被免	福井縣原蠶種製造所技手	同市清川中町	佐藤安治郎
大正四年六月 二十六日任命	坂井郡雄嶋村陣ヶ岡	大野郡富田村田野	松崎恒藏
同	福井縣農業技手	今立郡中河村橋立	加藤彦一
同	福井縣農業技手	大飯郡本郷村本郷	土岐三郎右衛門
養	福井縣農業技手	丹生郡織田村中	猿橋菊太郎
蠶	福井縣農業技手	宇野權右衛門	宇野權右衛門
業	福井縣農業技手	大飯郡本郷村本郷	大飯郡本郷村本郷

本會開設以來，經費豫算額左，如：

第二章 經費

四

科 目	大正五年度	大正四年度
委 員 手 當 費	四二〇〇〇	四九〇〇〇
人 費 給 費	一一六〇〇	一一七、四〇〇
品 耗 費	三六〇〇〇	三三、八〇〇
品 費	一三〇〇〇	一二、二〇〇
搬 費	一〇〇〇〇	七、七五〇
運 費	五、〇〇〇	五、〇〇〇
信 費	二三〇、〇〇〇	二三〇、一五〇
計	二二一、〇〇〇	二二一、〇〇〇
雜 通 消 備 雇 旅 委	三六〇、〇〇〇	三三、八〇〇

以上

第四章 種蘭審查標準

大正五年度種繭審査會ニ申告セル人員ハ三十二名、其ノ点數百十七
点ナリシモ其ノ後申告者ニ於テ審査ノ請求ヲ中止セルモノアリテ、
結局請求人員十七名、其ノ点數四十二トナリ審査請求數量六石二斗
四升一合ヲ算スルニ至レリ、而シテ本會ニ於テ合格ノ決定ヲ得タル
モノ九名、三十点、三石九斗一升一合ナリ、今之レガ各郡別ノ詳細ヲ示
セバ左ノ如シ

足	吉	坂	大	今	丹	南	郡
羽	田	井	野	立	生	條	市
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	別
人	員	點	數	申			
一	三	四	三	一	一	人	
二	五	六	五	一	一	點	告
五	二	二	一	一	一	人	請
八	九	三	一	一	一	點	
老	三	三	一	一	一	合	求
一	二	二	一	一	一	人	合
三	八	三	一	一	一	點	
七	三	三	一	一	一	合	格

五

大正四年度	大遠三敦 縣立原蠶種製造所	飯敷方賀 郡郡郡
元三一七三		一、五〇一
二九五五		一、四九六
三七一五二		一、四九三
三四九二三		一、四九二
三九一三		一、四九一
元三九七		一、四九〇
五、四九		

六

大正五年九月二十一日ヨリ同月二十八日マデ八日間本縣廳ニ於テ
本會ヲ開會ス、其ノ日程左ノ如シ

九月二十一日

午前十時開會、會長ノ代理副會長ヨリ別記告辭アリ終リテ會議
ニ移リ、器械審査ニ附スヘキ蘭採取法及器械審査内規ニ關スル
件ヲ議決シ、本件ハ委員定數二分ノ一以上出席ノ場合更ニ提出
シテ承認議定ヲ受クル事ニ決シ、直ニ器械審査ニ入り十二点ノ

審査ヲ結了シ午後四時散會ス

九月二十二日

午前八時開會、前日ニ引續キ器械審査ヲ行フ審査点數十八点午
後四時散會ス

九月二十三日

午前八時開會、器械審査ヲ結了セシ三十点ニ對シ成績調査ヲ行
ヒ午後四時散會ス

九月二十四日

午前八時開會、前日器械審査ヲ執行セル十二点ニ對シ、成績調査
ヲ行ヒ午後五時散會ス

九月二十五日

午前八時開會、前日器械審査ヲ執行セル十二点、
ヲ行ヒ午後五時散會ス

九月二十六日

午前十時開會、九月二十一日議定セル器械審查ニ附スヘキ繭採取法及器械審查内規ニ關スル件ヲ承認議決シ、更ニ器械審查以外ノ審查内規ヲ議決シ、請求点數四十二点全部ノ肉眼第一審ヲ終了シ、午後四時三十分散會ス

九月二十七日

午前九時開會、請求点全部ニ對シ肉眼第二審ヲ終了シ、審查規則第七條ニヨル調査ヲ行ヒ、午後十二時三十分散會ス

九月二十八日

午前十時開會、知事代理松村内務部長ヨリ別記ノ訓辭アリ終リテ種繭全部ニ對スル合否決定ノ件附議シ、午後十二時三十分會長本會ノ閉會ヲ宣セリ

第二節 訓辭及告辭

知事代理松村内務部長訓辭ノ大要左ノ如シ

茲ニ大正五年度本縣地方種繭審查會ヲ開會スルニ當リ委員諸君ニ一言告グル處アラントス

蠶種ノ改良ハ蠶絲業ノ進歩發達上最モ重要ノ事項ナリ、本縣ニ於テハ其目的ヲ達センガ爲メ、昨大正四年度ヨリ原蠶種製造所ヲ新設シ、一面亦種繭審查會ヲ設ケタリ、昨年第一回種繭審查會ヲ開會スルヤ、委員諸君ハ熱心ニ審議討究シテ優良原種ヲ選擇查定シ之ニ依リテ蠶種改良ノ歸向ヲ示シ、本縣蠶絲業ノ發展上ニ多大ノ裨益ヲ與ヘタルハ本官ノ大ニ満足スル處ナリ然モ輓近科學ノ進歩ニ伴ヒ、遺傳學ノ應用ニ依リテ交雜種ノ製造盛ニ行ハレ、蠶種改良ノ進歩ハ殆ント底止スル處ヲ知ラサルノ有様ナルガ故ニ、諸君ハ常ニ我國蠶絲業界ノ大勢ヲ洞察シテ、社會ノ進歩ニ後レサルノ見識ヲ持シ一面本縣蠶絲業ノ情勢ヲ鑑ミ

テ、適當ナル品種ヲ選擇シ種蔦審査會ノ選擇査定ハ、直ニ以テ本縣蠶種改良ノ方針トナリ、當業者ヲシテ其ノ向フ處ヲ知ラシメ、本會ノ效果ヲシテ更ニ一層著大ナラシメンコトヲ切望ス。

會長代理佐々木副會長告辭ノ大要左ノ如シ

大正五年度福井縣地方種蔦審査會ヲ開クニ當リ、委員諸君ノ出席セラレタルハ本職トシテ最モ欣幸トスル處ナリ

諸君ノ了知セラルル如ク、蠶種ノ改良ハ本邦蠶糸業上最モ肝要ナルコトニシテ官民協力シテ之ガ改善ノ途ヲ計ルコトハ刻下ノ急務ナリ、サレバ昨大正四年ヨリ本縣ニ於テ之ガ改良發達ニ資セシムル機關トシテ、原蠶種製造所ヲ設ケ、一面本會ヲ設立シ、委員諸君ヲ煩シ親シク意見ヲ徵シ専ラ之ガ改善ニ努メツツアリ、之ニヨリ本縣蠶種改良ノ機關ハ一通り揃ヒタリト云フテ可ナ、リ然凡之ガ機關ヲ運用シ改善ノ先鋒ニ至リテハ諸君ガ御盡

力ノ如何ニ關スルモノト云フベク、諸君ノ責任益々大ニ本會ノ責任愈々多シト謂フベシ

希クバ今回ノ請求蔦審査ニ當リテハ公平無私ヲ期シ、本縣斯業ノ現狀、宇内ノ大勢ニ鑑ミ、慎重審議セラレ以テ本縣蠶糸業ノ開發ニ功献セラレンコトヲ

第三節 決議事項

本會ニ於テ決議セル事項ハ、審査内規制定ノ件及種蔦審査合否ニ關スル件ニシテ即チ左ノ如シ

一、審査内規

第一條 種蔦審査會審査規則第七條ニヨル調査ハ蠶業取締官吏々員ノ爲シタル調書ヲ基礎トシ左ノ各號ノ標準ニ依リ得点ヲ定ム
一、系統 虫質及蔦質共優良ニシテ普及スルニ足ルト認メラルル

モノニ二十点ヲ附シ以下等差ニ依リ附点ス

二、發育 蟲兒各齡共強壯齊一ナルモノ及蛹ニ於テ強健ト認メラ
ルルモノニ二十点ヲ附シ以下等差ニ依リ附点ス

三、掃立原蟲種病毒歩合 無毒ノモノニ二十点ヲ附シ一%ヲ増ス
毎ニ一点ヲ減ス

四、對蟻量收繭額 掃立蟻量一匁ニ對シ總收繭額三斗五升ノモノ
ニ二十点ヲ附シ上下二升ノ差アル每ニ一点ヲ增減シ

五、同功繭歩合 總收繭ニ對シ百分ノ七ノモノニ二十点ヲ附シ百
分ノニヲ増減スル每ニ一点ヲ減増ス

六、屑繭歩合 總收繭ニ對シ百分ノ七ノモノニ二十点ヲ附シ百分
ノニヲ増減スル每ニ一点ヲ減増ス

七、繭屑量 繭ノ全量百ニ對シ十五ノモノニ三十点ヲ附シ上下一
ノ割合ニ三点ヲ増減ス

第二條 種繭審查會審查規則第七條ニ依ル肉眼審查ハ左ノ各號ノ
標準ニ依リ得点ヲ定ム

一、形狀 齊一ニシテ種類特有ノ形狀ヲ有シ縫目添ク長短細太ニ
失セス中庸ヲ得タルモノニ二十五点ヲ附シ以下等差ニ依リ附
点ス

二、色澤 固有ノ色澤ヲ有シ佳良ナルモノニ二十五点ヲ附シ以下
等差ニ依リ附点ス

三、縮皺 固有ノ縮皺ヲ有スルモノニ二十五点ヲ附シ以下等差ニ
ヨリ附点ス

四、緊緩 佳良ナルモノニ二十五点ヲ附シ以下等差ニ依リ附點ス

第三條 審查規則第七條ニ依ル器械審查ハ種繭十顆ニ付キ之ヲ行
ヒ左ノ各號ノ標準ニ依リ得點ヲ定ム

一、絲長 繭一顆ノ平均糸長六百回ノモノニ三十點ヲ附シ上下二

十回ノ差アル毎ニ一點ヲ増減ス

二、織度 繰糸後火力乾燥ヲ爲シ約二時間空氣中ニ放置シタル後
糸長四百回ニ對シニ、七デニ一ル乃至、三デニ一ルノモノニ三十
點ヲ附シ上下〇、一デニ一ルノ差アル毎ニ一點ヲ減シ織度ノ最
太最小ノ差〇、二デニ一ル毎ニ一點ヲ減ス

三、類節 第二百回第三百回ニ於テ検シ四百回ニ換算シ無類ノモ
ノニ二十點ヲ附シ一ヶヲ増ス毎ニ一點ヲ減ス

四、切斷 平均糸長ヲ檢シ四百回ニ換算シ無切斷ノモノニ二十點
(ヲ附シ一切斷ヲ増ス毎ニ四點ノ割合ヲ減ス)

第四條 調査肉眼器械ノ各得點ノ總和三百十五點以上ニシテ各條
各號項目ノ得點十點以上且ツ豫知検査ニ於テ病毒歩合三%以下
ノモノニ付キ再審ノ上合否ヲ決ス

附

器械審査ニ附スヘキ爾採取法
器械審査ニ附スヘキ爾ハ提出種爾全量ノ中ヨリ委員會議ニヨ
リ、優良ナルモノヲ十二粒選出しシ、十粒ヲ繰糸スルコト
以 上

二、種爾審査合否決定

九月二十八日會議ノ結果、審査ノ合否決定左ノ如シ、而シテ右ニ關ス
ル詳細ナル成績ハ第五章ニ於テ述フル處アルヘシ

大正五年度種爾審査合否決定表

合否	種爾證明 番號	名稱	記號	化姓	春秋	請求者住所	氏名
不合	格	合					
合格	格	合					
大同	福	同					
三	兜	吾	七				
三	銀	金	福				
三	龍	豊	龍				
には	は	は	は				
一一一							
春	春	春					
坂井郡丸岡町石城戸							
坂井郡細呂木村指中							
大野郡大野町春日							
小原喜久治							
伊藤豊							
長谷川彌三兵衛							
人							

一五	全	九	丸	丸	青	青	高	日	一號
二六	齒	齒	一丸	丸	青	青	熟	熟	砂
三七	元	支	日	一號	熟	熟	熟	熟	
四八	名古屋	那	又	砂	砂	砂			
五九	國	富	又	砂					
六〇	特大支	廿號							
七一	福龍	一號							
八二	福龍	一號							
九三	黃玉	一號							
一〇四	黃玉	一號							
一一五	赤								
一二六	綾								

れるとちほいへやち

春春春春春秋春秋春秋春秋春秋

同 同 本郷村本郷
遠敷郡鳥羽村黒田
大飯郡本郷村本郷
遠敷郡小濱町塩竈
大飯郡佐分利村岡安

同 同 同 同 同 同 原 新 同 自 同 同 同 猿 澤 同 松
蠶 種 製 造 所 藏 社 社 人 人 人 郎 門 人 藏
谷 熊 瘪 巖 宮 岩

合 不合格 不合格 不合格 不合格 不合格 不合
格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格
同 小 同 同 同 同 同 同 同 鯈 同 同 同 同 同

ろにはちりいきへいをうむねつかは

— — — — — — — — — — — — — — — — —

秋 秋 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春

大野郡富田村田野
今立郡中河村橋立
今立郡北中山村磯部
河和田村寺中
河和田村寺中
北新庄村中新庄
同
同
同
同
同
同
大飯郡加斗村岡津
本郷村本郷

合資會社 神虫館
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
館 館 館 館 館 館 館 館 館
人 人 人 人 人 人 人 人 人

第一節 調查及肉眼審查二關大成績

第五章 種苗成績調查

本會ニ提出セバ種類四十二點ノ成績云肉眼審査及器械審査各稱別合否比較、名稱別調査肉眼及器械審查成績、系統別合否比較、系統別調查肉眼及器械審査成績、春秋別調查肉眼及器械審查成績、春秋別調查肉眼及器械得點成績ニ分チ表示スレバ左ノ如シ

第四節 出席委員

合合合合
格格格格
小大
二三
掛合角又
國の錦
歐廿號
白越
にを
一一一
春秋春春
大野郡大野町春日
大飯郡本郷村本郷
猿橋菊太郎
長谷川彌三兵衛
同同所

第一二節 儀械審查ニ關スル成績

第三節 名稱別審查合否比較成績

備考 切斷ノ項最多最少ハ四百回ニ換算セズ全糸長ニ對スルモノナ示セリ

銀三福福支國青日赤大清姫綾又又
龍龍那の一昔五號昔
豐又號龍又錦熟號熟姫姫蚕又號昔

一三一一一一四二一一二三二一
一一一一〇一一二一〇〇二二〇一
〇一〇〇〇一〇三〇〇一一〇一二〇
一〇〇一〇〇〇。一〇五〇〇〇。一〇〇一〇〇%
一〇〇一八〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇
一五〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇
一五〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇
一五〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇一〇〇

第四節 名稱別調查肉眼及器械審查成績

備者 一切關人項最多最少ハ四百回ニ換算セラ全系長ニ對スルモノヲ示ス

第五節 系統別審査合否比較成績

大正四年計										系統	請求点數	合格点數	不合格点數	不 ^ル 合格点數	請求点數ニ對ス	合格種繭量	不 ^ル 合格種繭量	
支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	歐	一	一	一	一	八	合	五、〇六	
那	歐	洲	歐	洲	歐	洲	歐	洲	歐	洲	四	二	二	一	三〇	合	二、〇三	
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	一	一	一	一	一	合	一、五〇	
度	大	正	四	年	計	歐	洲	歐	洲	歐	洲	支	支	支	支	支	合	一、〇〇

第六節 系統別調査肉眼及器械審査成績

大正四年計										系統	繭量 対 收 同 功 合 步 層 繭 層 合 種 病 數 升 繭 顆 一 系 長 最 短 最 均 平 長 太 最 小 最 均 平 纖 度 多 最 類 少 最 節 均 平 切 斷 口 請 數 求 數 種 類							
支	支	支	支	支	支	支	支	支	支	歐	一	一	一	一	一	合	一、〇〇	
那	歐	洲	歐	洲	歐	洲	歐	洲	歐	洲	一	一	一	一	一	合	一、〇〇	
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	一	一	一	一	一	合	一、〇〇	
度	大	正	四	年	計	歐	洲	歐	洲	歐	洲	支	支	支	支	支	合	一、〇〇

備考 切断ノ項最多最少ハ四百回ニ換算セズ全系長ニ對スルモノナ示セリ

第七節 蘭色別調查肉眼及器械審查成績

一一一

第八節 春秋別調查內眼及器械審查成績

備考 七隊人項最多最少ノ四百回ニ換算セラ全系長ニ對スルモノ示セリ

春秋別	一々収穫量	歩合量	層	種病合	升顆數	最長短	均平	最大小	均平	最多少	均平	多最類	口數求
春秋平均	三三	二五	六八%	三二%	一五%	〇、二	〇、三	〇、三	一九	二元	一九	粒	回
	七九	三七	六八%	三二%	一五%	〇、二	〇、三	〇、三	一九	二元	一九	回	回
						四二〇	四三	四二	六一〇	六九四、五三一、六三、六	六九四、五三一、六三、六	回	回
						六五五、七一、六三、七	六五五、七一、六三、七	六五五、七一、六三、七	六五五、七一、六三、七	六五五、七一、六三、七	六五五、七一、六三、七	回	回
						三八	三四	三六	三八	三四	三四	ケ	ケ
						〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	ケ	ケ
						二一	一三	一四	二一	一三	一三	ケ	ケ
						〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	ケ	ケ
						〇一	〇〇	〇一	〇一	〇一	〇一	ケ	ケ
						三二	六	三三	三二	六	三三	豆	豆
						四三	六	三三	四三	六	三三	豆	豆

第九節 調查肉眼及器械審查得點成績

今立郡中河村橋立

三三

土岐三郎右衛門

三四

八

第六章 種藥審查會關係法規

〔明治四十四年三月二十八日
法律第四十七號〕

第二十三條　主務大臣及地方長官ノ必要ニ應シ種々ノ審査及原鑑種ノ

選定ヲ行ハシムル爲メ種繭審査會ヲ設クヘシ
種繭審査會ノ設置組織權限及審査選定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二、蠶絲業法施行規則(抜萃)

(明治四十四年十月三日農商務省令第三十號)

第七十四條 原蠶種ヲ製造セントスル蠶種製造者ハ其ノ種繭ニ對シ地方種繭審査會ノ審査ヲ受クルコトヲ得

第七十五條 前條ノ審査ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ種繭審査請求書ヲ地方長官ニ其ノ種繭ハ之ニ種繭證明書ヲ添付シ地方長官ノ指定シタル場所ニ差出スヘシ

第七十六條 地方長官ハ當該官吏吏員ヲシテ收繭後ノ検査ノ場合ニ於テ地方種繭審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種繭ノ全部又ハ一部ニ封緘ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十七條 蠶種製造者ハ種繭證明書ナキ種繭ニ付キ第七十四條ノ審

查ヲ請求スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ自己ノ生産セサル種繭ヲ以テ原蠶種印ノ押捺ヲ受クヘキ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ郡市以上ヲ地域トスル農會又ハ蠶種ニ關スル同業組合ハ此限ニ在ラス

第七十八條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ノ種繭證明書ニハ様式第二十三號ノ種繭審査合格証印ヲ押捺ス(様式略ス)

第七十九條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ノ母蛾検査ヲ請求スル爲第四十七條第一項又ハ第五十條ノ規定ニ依リ蠶種及母蛾ヲ蠶業取締所ニ差出サムトスル者ハ之ニ其蠶種ノ製造ニ供用シタル種繭證明書ヲ添付スヘシ
第八十條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ニハ第五十一條第三項ノ處分ヲ爲シタル様式第二十
四號原蠶種印ヲ押捺ス(様式略ス)

道府縣ハ其ノ製造シタル原蠶種ニ様式第二十五號原蠶種印ヲ押捺スヘシ(様式略ス)

第八十一條 蠶種製造者原蠶種印アル蚕種ヲ蠶種製造者以外ノ者ニ讓渡サムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ原蠶種ノ取消ヲ受クヘシ但道府縣ノ製造ニ係ルモノハ道府縣之ヲ取消スヘシ

前項ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ原蠶種印ノ上ニ様式第十九號消印ヲ押捺スヘシ(様式畧ス)

第八十二條 道府縣ニハ本則中第五條、第六條、第七條第十條、第十七條、第十九條、第二項、第七十五條及第七十七條ノ規定ヲ適用セス

三、種繭審査會規則

〔勅令第一百七十六號
明治四十四年十一月二十一日〕

第一條 蠶絲業法第二十三條ノ規定ニ依ル種繭審査會ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 種繭審査會ハ中央種繭審査會及地方種繭審査會トス

第三條 中央種繭審査會ハ農商務大臣ノ監督ニ屬シ原蠶種ノ選定ニ關スル事項ヲ審議シ及之ニ關スル調査ヲ行フ地方種繭審査會ハ地方長官ノ監督ニ屬シ原蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭ノ審査ヲ行ヒ及原蠶種ノ選定ニ關スル事項ヲ審議ス

第四條 中央種繭審査會ハ委員廿一人以内ヲ以テ之ヲ組織ス地方種繭審査會ノ委員ノ定數ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ定ム

第五條 委員ハ官吏公吏及蠶絲業ニ關スル學識經驗アル者ノ中ヨリ

中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣地方種繭審査會ニ在リ

テハ地方長官之ヲ命ス

第六條 委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏ニシテ委員タル者ヲ除クノ外三年トス

第七條 種繭審査會ニ會長及副會長ヲ置キ中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣地方種繭審査會ニ在リテハ地方長官其委員ノ中

ヨリ之ヲ命ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル副會長ハ會長ヲ輔
ケ會長事故アルトキ之ヲ代理ス

第九條 種繭審查會ニ幹事及書記ヲ置キ中央種繭審查會ニ在リテ
ハ農商務大臣地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官之ヲ命ス幹事
ハ一人トス官吏又ハ公吏ノ中ヨリ之ヲ命ス

第十條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十一條 地方種繭審查會ニ於テハ審查ニ關スル事務ヲ補助セシム
ル爲補助員ヲ置クコトヲ得

補助員ハ地方長官毎年之ヲ命ス

第十二條 種繭審查會ニ於ケル原蠶種ノ選定ニ關スル會議ハ中央種
繭審查會ニ在リテハ農商務大臣地方種繭審查會ニ在リテハ地方

長官ノ提出シタル議案ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十三條 地方種繭審查會ノ議ニ付スヘキ事項ニ付ニ以上ノ道府縣
ニ涉リ協定ヲ爲スノ必要アルトキハ關係道府縣地方種繭審查會
ハ聯合シテ開會スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ決議ヲ以テ
各地方種繭審查會ノ決議ト看做ス

前項ノ聯合會ノ會議方法ハ關係地長官ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム
第十四條 地方種繭審查會ニ於ケル種繭ノ審查ハ三人以上ノ委員ヲ
以テ之ヲ行フ

種繭ノ審查ヲ行フ場所及期日ハ地方長官審查ノ日ヨリ少クトモ
十日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十五條 委員ハ自己配偶者四親等内ノ親族戸主又ハ家族ノ請求シ
タル種繭ノ審查ニ參與スルコトヲ得ス委員種繭ノ審查ヲ請求シ
タル者ノ法定人代理タルトキ亦同シ

第十六條 中央種繭審查會ノ會議ハ農商務大臣地方種繭審查會ノ會議ハ地方長官之ヲ召集ス

第十七條 種繭審查會ノ會議ハ委員定數二分ノ一以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第十八條 種繭審查會ノ會議ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十九條 會長ハ閉會後遲滯ナク會議ノ顛末及決議ノ要領ヲ中央種繭審查會ニ在リテハ農商務大臣ニ地方種繭審查會ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ

地方種繭審查會ノ會長ハ種繭ノ審查成績ヲ地方長官ノ指定スル期日毎ニ報告スヘシ

第二十條 地方種繭審查會ノ決議又ハ審查其ノ權限ヲ超エ若ハ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ決議又

ハ審查ヲ取消スコトヲ得

第二十一條 地方長官ハ地方種繭審查會ノ種繭審查ニ關スル規則ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 地方長官ハ地方種繭審查會ノ決議又ハ審查ノ要領及第二十條ノ規定ニ依リ決議又ハ審查ノ取消ヲ爲シタルトキハ其ノ顛末ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ蠶糸業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四、福井縣地方種繭審查會審查規則

〔大正四年五月十六日
福井縣令第百三號〕

第一條 種繭審查會ニ於ケル種繭審查ノ場所及期間ハ其都度之ヲ告示ス

第二條 種繭審查會委員ノ定數ハ十五名以内トシ外ニ補助員若干名ヲ置ク

第三條 審査ヲ受クヘキ種繭ハ當分越年蠶種ノ製造ニ供用スルモノニ限ル

第四條 種繭ノ審査ヲ受ケムトスル者ハ其ノ蠶種ノ掃立ヲ終了シタルトキ第一號様式ニ依ル審査申告書ヲ收繭後検査ヲ終リタルトキ第二號様式ニ依ル審査請求書ヲ所轄蠶業取締所支所ノ經由シ知事ニ差出スヘシ

第五條 審査ノ爲提出スヘキ種繭ノ數量ハ種繭證明書ヲ異ニスル毎ニ一升五合トシ審査請求種繭全部ノ中ヨリ蠶業取締吏員ノ指定スル部分ヲ採取シ封印ヲ受ケタル儘乾燥シテ審査開始期日一週間前ニ差出スヘシ

審査スヘキ種繭ヲ期日迄ニ差出ササルトキハ審査ノ請求ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第六條 種繭ノ審査ヲ爲スニハ請求者ノ氏名又ハ名稱ヲ表ハサス

符號ニ依リ之ヲ行フ

第七條 種繭ノ審査ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ行フ

一 調査

(一)原蠶種ノ系統 (二)發育經過 (三)收繭量 (四)同功繭及層繭ノ歩合 (五)繭層量

二 肉眼審査

(一)形狀 (二)色澤 (三)縮皺 (四)緊緩

三 器械審査

(一)絲長 (二)纖度 (三)類節 (四)切斷

第八條 調査ハ蠶業取締所ノ検査シタル成績ニ就キ之ヲ行フ

第九條 肉眼審査ハ委員ノ合議ヲ以テ之ヲ行フ

第十條 器械審査ハ委員監督ノ下ニ補助員ヲシテ之ヲ行ハシメ其ノ結果ニ就キ更ニ合議審査ヲ行フ

第十一條 種繭ノ審査ヲ請求シタル者ハ種繭審査會ノ審査決定ニ對シ再審査ヲ請求シ又ハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 審査ノ爲毀損シタル繭ハ之ヲ辨償セス

第十三條 種繭審査會場ニハ係員ノ外入場ヲ許サス但會長ノ許可アリタル場合ハ此限ニ在ラス

第十四條 委員其ノ他審査ノ事務ニ關與スル者ハ審査ニ關スル一切ノ事項ヲ漏洩スルコトヲ得ス

第十五條 委員又ハ補助員病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出席シ難キトキハ開始時間前ニ其ノ旨會長ニ届出ツヘシ

第十六條 會長ハ會議錄ヲ作リ會議ノ顛末及出席委員ノ氏名ヲ記シ委員二名ト共ニ之ニ署名捺印スヘシ

第十七條 會長ハ審査終了後一箇月以内ニ其ノ成績ヲ編纂シ知事ニ報告スヘシ

第十八條 種繭審査ノ成績ハ審査終了後二十日以内ニ審査請求者ニ通知ス

第十九條 會長ハ知事ノ認可ヲ經テ審査ノ内規及會務整理上必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

第一號樣式 種繭審査申告書

記號	化性	化期	名稱	掃立月日	同上蛾數	同上蛾量	原 ^矣 蟲種製造豫定蛾數
				月 日	蛾	忽 分	蛾

右及申告候也

年 月 日

住 所

氏名又ハ名稱

第二號樣式 種繭審査請求書

種繭證明書記號番號	化性	化期	名稱	種繭總樹量	審查請求樹量	原蠶種製造豫定蛾數
				合	合	蛾

右及請求候也

年月日

住所

氏名又ハ名稱印

知事何某殿

五、福井縣地方種繭審查會委員手當及旅費支給規則

〔大正四年五月十一日
廳訓第十一號〕

- 第一條 種繭審查會委員ノ手當ハ一日金壹圓トシ開會中勤務日數ニ應ジ之ヲ支給ス

- 第二條 種繭審查會委員ノ旅費ハ左表ニ依リ之ヲ支給ス

濱車賃一哩ニ付 車車賃一里ニ付 宿泊料一夜ニ付 日當一日ニ付

金四錢 金貳拾錢 金壹圓 金五拾錢

- 第三條 旅費支給ノ方法ハ明治四十三年六月勅令第二百七十四號

内國旅費規則ヲ準用ス

- 第四條 官公吏ニシテ種繭審查會委員タルモノニハ本則ニ依ル手當及旅費ヲ支給セス

1421
388

大正五年十一月五日印刷
大正五年十一月八日發行

福井縣內務部編纂

福井市老松中町四番地

印刷者 和久本金三郎

福井市老松中町四番地

印刷所 和久本印刷部

1037-54



終

